

# ことり新聞

看護部だより12月号 December 2025.12.5 Vol.152

伊藤看護部長

## 『共生社会をつくるために…』

**共生社会**とは、年齢・性別・障がいの有無・国籍などの違いにかかわらず、誰もがその人らしく暮らし、共に支え合っていく社会のことをいいます。少しやわらかく言えば、「ちがいがあっても、みんなが安心して参加できる社会」というイメージです。

医療の現場でも、患者さん・ご家族・職員それぞれが違う背景や個性を持ちながら、お互いを尊重し、助け合い、できることを活かし合うことが、**共生社会**の実践につながっています。お互いの個性やペースを大切にしながらみんなで働きやすい環境をつくることが**共生社会**への一歩となります。ちょっとした声かけや、ふとした配慮が、誰かの安心と笑顔につながっていきます。とても大切なことですよね…

2025年もあと1か月となりました。皆様の1年の頑張りに心から感謝申し上げます。来年もまたみんなで笑顔を分かち合える年にていきましょう!

良いお年を  
お迎え下さい。

## 12月 研修・行事

11/25～11日 大阪医療看護専門学校実習受入

1～11日 大阪医専実習受入

2～17日 大阪大学実習受入

5日 ACP研修

10日 法人所属長研修

11日 法人新任主任研修

12日 法人部長次長研修



12日

忘年会



16日 トーンチャイム音楽会

23日 法人卒後3年目研修「看護観」  
排泄ケアスペシャリストフォローアップ

25日 法人所属長研修

26日 卒後2年目ケーススタディ発表会



## 第8回医療と介護を考える会 最優秀賞受賞

11月29日に川西みつなかホールで開催された法人主催の医療と介護を考える会で地域をつなぐ回復期病棟への挑戦—持続可能な医療提供体制への構築—の演題でチームSenriが最優秀賞を受賞しました。



## 臨床倫理事例検討拡大会

## サブリーダー 東3階 看護師



11月19日に今年度2回目となる多職種をまじえた臨床倫理事例検討会を開催しました。

検討会メンバーに加え、公認心理士・放射線科・検査科・医事課の参加がありました。各職種からの専門的な意見だけでなく、家族の視点や人生観についてなど様々な意見が出していました。多職種からは「看護師が普段どんなことを考えて看護しているのかが知れて良かった」「1人の患者さんをシートを使っていろんな角度から検討してすごいと思った」「また参加したいと思った。他の人にも勧めたい」などの感想がありました。



多職種でカンファレンスすることで、自分にない見方や考え方など新たな発見が多くありました。今回参加頂いた方々ありがとうございました。次回は2月18日15時からを予定しています。たくさんの皆さんのが参加をお待ちしています。

## 東6階病棟イベント

## 東6階 看護師

患者さんの気分転換・生活の質の向上・生きがいや楽しみに繋げられるよう今年以来病棟イベントを実施しています。9月「花火大会上映会」10月「阪神リーグ優勝祝賀会」11月「阪神優勝パレード上映会」と題し、動画の上映会を行いました。患者さんの車椅子への移乗や搬送などにはリハビリスタッフの協力もあり、多くの患者さんとそのご家族に参加していただくことができました。



イベント時には、普段は入眠傾向の患者さんも目が大きく開き集中して映像を見ていたり、手拍子する方や中には手を使って踊りだす患者さんもおられました。阪神イベントの最後にはみんなで六甲おろしを歌い、多いに盛り上ることができました。12月にはクリスマスイベントも実施予定です。



イベントのために飾り付け作成や仕事の時間調整等大変な事もありますが、患者さんとご家族とスタッフが一緒になって楽しい時間を過ごせるように、今後も継続できればと考えています。

## 10月 新規褥瘡発生 3人

(11月褥瘡予防対策委員会より)